

白川郷・屋久島班

社会学部現代社会学科 芹澤 知 広
尾 上 正 人

平成15年度は、平成14年度に引き続き、白川郷と屋久島の現地調査と、学生も参加する研究会という場を通じた関連情報の収集とを中心にして、研究活動を行った。

以下では、4点の主要な活動に焦点をあてて、それぞれを報告する。

なお、これらの主要な活動のほか、白川郷と屋久島の関係者が関西を訪れる機会が本年度中に数回あり、その都度、関西の名所を案内し、会食等の機会を個人的な好意から用意した。そのような場は、白川郷・屋久島の情報を収集するための絶好の機会となるほか、現地調査を行う研究者が、地元で歓待する側に回ることで、さらに交友が深まり、次年度以降、奈良大学の関係者が白川郷と屋久島で調査研究を続けるためにも、たいへん有意義な機会となったことを、併せて報告しておく。

(1) 白川郷共同作業慣行の現地調査

平成15年4月5日から7日にかけて、尾上が白川村に赴いて現地調査を行った。その際、4月6日に実施された木戸口家合掌造り家屋の屋根の葺き替え作業に実際に参加して、村になお残る共同作業慣行としての「結（ゆい）」の参与観察を行った。参加に際しては合掌造り保存財団の方から、葺き替えの年数・材料・経費等について様々な説明をいただいたほか、午前中は屋根裏の葺き替えに備えた作業を特別に見学させていただき、午後は本格的に葺き替え作業に加えてもらい、村民に混じって屋根に上がって材料となる萱をリレー形式で上に運ぶ仕事に従事した。昼休みおよび葺き替え終了後の打ち上げ会では明善寺の境内で参加した村の方々と食事とともにし、懇談の場を持った。また、それに先立つ5日夜には、木戸口家の長男や明善寺の住職と懇談し、様々な聞き取りを行なった。さらに翌7日には、村役場内にある図書館に行き、世界文化遺産登録に至る経緯についての資料をコピーした。全体として、「結」の様子を実体験できた点で、大変有意義な調査であった。

(2) 白川郷伝統祭礼の現地調査

平成15年10月17日から19日かけて、芹澤と尾上が白川村に赴いて現地調査を行った。白川村では、この時期、秋の祭礼である「どぶろく祭り」が盛大に行われる。世界遺産に登録されている合掌造り集落・荻町では、10月14日から15日にかけて「どぶろく祭り」が行われるため、本年はその参与観察が叶わなかったが、17日から19日にかけて、鳩ヶ谷集落と飯島集落の「どぶろく祭り」の参与観察を行った。とくに、17日の晩には、鳩ヶ谷で「どぶろく」をつくる杜氏でもある村内有力者の家で宴会があり、その席に招待されたことによって、地元の多くの人々と顔を合わせ、貴重な情報を得ることができた。翌18日には、飯島集落の行事に朝から加

わり、村内を回る行列にも関係者とともに加わった。19日の帰路では、荻町集落にある博物館「どぶろく祭りの館」を見学した後、レンタカーを使って世界遺産に登録されている五箇山の合掌造り集落、菅沼と相倉へも足を伸ばし、関連施設を見学した。

(3) 国際シンポジウム

平成15年11月30日に奈良大学にて「シンポジウム・世界遺産のある都市」が開催され、白川郷と屋久島の関係者も講師として来校した。屋久島からの柴鉄生氏は、2年前にも本特別研究に関わって講演をなさっているが、白川郷からの三島敏樹氏と近藤久善氏は本学に来られるのは初めてであり、本特別研究の関係者が直接に白川郷の話を両氏から聞くという点でも、とても有意義な機会となった。しかしながら、白川郷・屋久島の与えられた発表時間は、それぞれ20分であり、さらに白川郷の場合は、その20分を2人で分担するということによって、それぞれがかなり濃縮された深い内容の発表が準備されていたが、時間不足になった。また、パネルディスカッションについても、本研究班を代表して芹澤に白川郷に関する発言が求められる機会は用意されたが、白川郷の参加者が直接に説明する機会はほとんど与えられず、参加者に不満の思いを抱かせた。シンポジウム全体は大成功に終わったといえるが、細部については反省の余地が少なからず残された。

(4) 研究会

平成16年1月29日に、本特別研究の研究分担者と世界遺産研究に興味をもつ学生を対象とした研究会を開催した。講師として、国際日本文化研究センター非常勤講師の才津祐美子氏をお招きし、「世界遺産『白川郷』はいかに『保存』されてきたか」という題で、研究発表をしていただいた。才津氏は、白川村での実地調査に基づく博士論文を、大阪大学大学院文学研究科に提出したばかりの気鋭の民俗学者である。今回は、「合掌造り」の保存運動の歴史、文化財化、保存の現状と問題点にしばった発表をいただいたが、その後の質疑応答を通じて、白川郷研究の様々な可能性について多くの示唆をいただいた。また、本研究班には、関連するご論考の「『白川郷』における世界遺産登録の影響について」と「世界遺産『白川郷』の『記憶』」をご提供いただいた。

以上